

千葉市

千葉県

使用用途

住民移動

運行車両

7人乗り：3台



グリスロに乗って、素敵なまち・ひとと出会える



住民ボランティアが活躍中！
運行形態は住民の意見を
反映して策定。
**課題解決のアイデア出しや
実現まで主体的に！**



まちの小さな変化を
発見！
顔なじみが
どんどん増える！
子供にも大人気♪

導入地域	千葉市内3地域：桜木地区、都賀の台地区、幕張ベイ地区
購入者	千葉市役所
運用主体	住民ボランティア（サポート：千葉市交通政策課）
ドライバー	住民ボランティアドライバー担当
財源調達（導入時）	市の予算＋二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の公共交通 × 脱炭素化移行促進事業）の活用
財源調達（運用時）	市の予算（車両維持費等）＋自治会・企業協賛金（日常運営費等）
位置づけ	・公共交通へのアクセスが困難な地域や、回遊性向上が望まれる地域への導入 ・「支え合い交通」として、地域住民とともに、地域の移動ニーズにきめ細かく対応し、交通モード間の切れ目のない移動手段を確保
運行形態	・週3日（地域毎に決定） ・無料 ・定時定路線：買い物先、公共施設、病院、駅等をつなぐ
運用実績	・桜木地区：2023年4月～、都賀の台地区：2023年11月～、幕張ベイ地区：2024年4月～ ・月平均乗車人数550人
地域課題・導入背景	・モノレール駅への公共交通がないため、モノレールを利用しづらい。 ・住宅地内に商店や医院など生活拠点施設が点在しているが、狭い道路を高齢者がマイカーで移動している ・まちの様々な課題を解決し、希望を持って暮らし続けられる街にしたい（日々の楽しみ、孤立防止、商店街の活性化等）
導入・運用のハードル克服	・運転手ボランティア不足を解消 ➡ 祭などの地域イベントにて体験試乗会を行い、認知度UP！ ・運営資金の不足 ➡ 理念に共感いただいた沿線企業から協賛金をGET！お礼に広告掲載や特別乗車会を進呈！ ・駐車場所がない ➡ 市や地元企業と交渉し、公民館や企業の所有地にて駐車場所確保！

利用者の声

- ・スーパーや区役所、モノレール駅への外出がしやすくなった。
- ・グリスロ車内でのコミュニケーションが楽しい。
- ・まちの人同士のコミュニケーションが増えた。

地域で愛着をもって愛称をつけています。

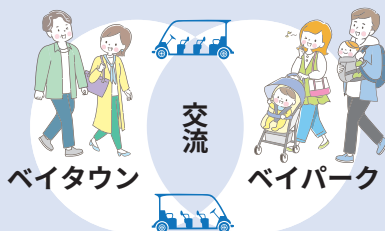
ボランティア人数は地域によって様々です。

（2025年5月現在）

	愛称	住民ボランティア
桜木地区	さくらまる	約45名
都賀の台地区	おさんぽバス	約10名
幕張ベイ地区	ベイ太くん	約60名

こんな効果も

ベイトウンに以前から
住む住民と、
ベイパークに住む
若い住民との交流が進んだ。



ボランティアには、運行ごとに
「ちばシティポイント」を付与
ポイントはWAONポイント等に
交換可能！

千葉市
グリスロの取り組み
詳しくはこちら

